



「私にとっての学校」

校長 青海 正

小さな苗は、苗代で密集してもまれ、勢いよく成長します。思春期には狭い教室で仲間と学ぶことが大事なのだと思います。私は子供の頃から、学校が好きでした。具合が悪い時でも休むのが嫌でした。決して成績優秀だった訳でもなく、バラ色の出来事ばかりだった訳でもありません。友人とのいざこざやトラブルなども当然あったし、先生の性格や性質も様々ですから、馬が合うか否かもありました。しかし対話によって人間関係の作り方を模索し、また周囲に「皆がやっているから」を求めることなく、価値の物差しに遊びがありました。だからなのか、教室で仲間や先生と学ぶこと、共に過ごす時間や空間が好きでした。教室内のポジションを固定しませんでした。今の生活と大きく違うのは、連絡手段がすべて家の固定電話のみだったことでしょうか。

昭和61年夏、東京都の教員採用試験を受験しました。当時教員は人気もあり、試験の倍率も高めでしたから内心不安でしたので、合格ハガキをポストに見付けた時は、もう嬉しくて堪りませんでした。翌年卒業と同時に、この念願の職業に就きました。初めは、へき地教育、非行やいじめなどの課題に体当たり、素晴らしい匠(たくみ)の技を持つ先輩の授業を、どん欲に次から次と真似ました。学級担任は2年目以降ずっと続け、毎日教室へ行くのが楽しみでした。教室で生徒と学ぶことや、移動教室、運動会、合唱祭、修学旅行など、学校行事には、未熟ながらも一生懸命でした。生徒たちと過ごす学校生活の全てが、かけがえのない大切な思い出となり、一人一人の成長を目に見えて感じることができました。

卒業式は生徒たちとの珠玉(しゅぎょく)の時間、様々な思い出が走馬灯のように蘇り、教職でしか決して味わうことができない夢のような1日でした。別れるのが嫌で泣きました。そして、また頑張れる。抜け出せなくなるほど夢中になりました。学校は子供たちと未来を語り合える場所です。子供たちとは3年間で別れるけれど、私は今でも未来を担う皆さんと対面している。出会った子供たちが、「あの先生こんなこと言ってたな」「あの先生こんなことしてくれたな」と思い出す度、何回でも子供の心に蘇ることが出来ます。こんな職業は、他にはなかなかありません。教師は人間を育てる最高の職業です。生まれ変わっても、また私はこの職業を選ぶと思います。

3月の主な予定

3日(月)	E-SATJ(1・2年)	生命尊重週間始	13日(木)	プロジェクトアバンチャー(2年)
	都立一次・分割前期合格発表・手続き		14日(金)	評議委員会 球技大会(1年)
		3年給食なし		都立二次合格発表・手続き
6日(木)	3年特別時間割開始		17日(月)	卒業式予行 職員会議(卒業式打合せ)
	いのちの授業(1・3年)		18日(火)	③④カット 卒業式前日準備
	都立二次願書受付		19日(水)	第64回卒業式
7日(金)	薬物乱用防止教室(2年)			(2年・1年代表生徒のみ参加)給食なし
	特支卒業遠足 球技大会(3年)		20日(木)	春分の日
		生命尊重週間終	21日(金)	保護者会(1・2年)③④カット
10日(月)	安全指導 卒業前記念講話(3年)			総合発表会(1年)
11日(火)	避難訓練(津波) 球技大会(2年)		24日(月)	美化活動3・4h 百人一首大会(2年)
	百人一首大会(3年)			給食なし
12日(水)	専門委員会 球技大会(2年)		25日(火)	修了式・離任式(1・2年)給食なし
13日(木)	校外学習(3年)	3年給食なし	26日(水)	春季休業日始

特支連合鑑賞教室 2025.2.4

6年ぶりの連合鑑賞教室では、ラテンミュージックで身体を揺らしたり、首を振ったりリズムに乗りながら曲を聴きました。また、静かな曲やゆったりした曲は、静かに耳を傾けて聴きました。最後は、サンバ・ブラジルで盛り上がりました。



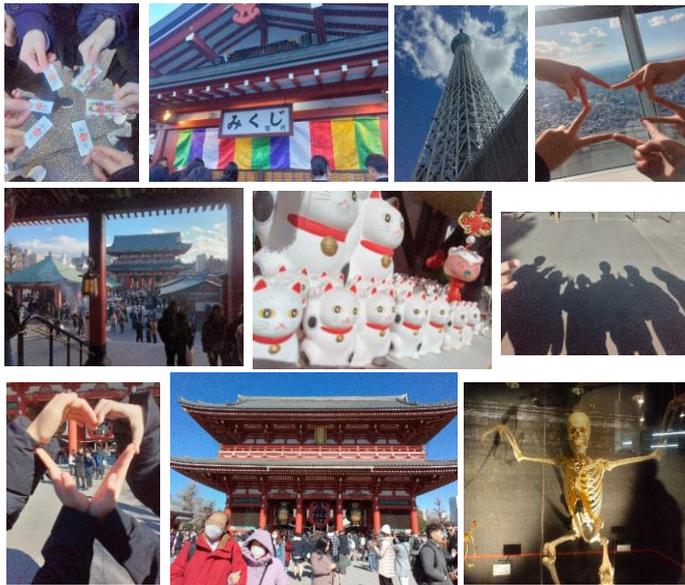
がん教育（2年生） 2025.2.19

本校学校医、ヨコヤマクリニック院長横山真也先生をお招きし、がん教育の授業を行いました。日本人の3人に2人が罹患すると言われていたがんについて、現状や発生原因、予防や早期発見の重要性などを学びました。スライドの中に「はたらく細胞」を用いて生徒が興味をもって学べるよう工夫されていました。自分の生活を見直すきっかけになるとともに、大切な人に検診に行つて欲しいという気持ちが芽生えました。



1年生社会科見学 2025.2.6

1年生は浅草・上野方面に行きました。今回の社会科見学では日本の伝統文化に触れる体験をコースに含め、班ごとに回るコースを決めました。各班協力しながら、スローガンである「克己復礼^{こつきふくれい}」を意識して、共に周りの人の気持ちを考えて行動することができました。



1組食堂 2025.2.26

6月の移動教室で作ったみそが熟成され、美味しくなりました。この手作りみそを使って豚汁を作り、ご飯と一緒に、志茂田中学校の教職員にふるまいました。これに向けて調理実習で豚汁を数回作ったり、接客に向けて仕事分担（レジ、ご案内、配膳、運搬、下膳）をし、練習を重ねたりしました。食べてくれる相手を意識することで、調理実習ではいつもより丁寧に、衛生に気を配って作りました。接客では、お客様を意識することで、普段の学校生活では見られない緊張感が見られました。教職員の中には、支払いの際に「ペイペイは使用できますか？」等の質問を意図的にしてくださる方がいました。その都度、生徒は返答をよく考えてしっかりと返すことができました。生徒たちから、「先生たちに『美味しかった』と言ってもらえたことが嬉しかった。」「また、やりたい」「次は〇〇係がやりたい」「次は〇を作りたい」等の前向きな感想が聞かれました。



小学校6年生体験授業

2月7日（金）に西六郷小、仲六郷小、志茂田小の児童を対象に中学校体験授業を実施しました。中学校の授業の雰囲気を感じ、入学後の前向きな気持ちにつながってほしいと思い毎年2月に行っています。国語、数学、英語、理科、社会の5教科に分かれて授業を受けてもらいました。「50分間の授業が短く感じました」「意欲的楽しく学ぶことができました」「入学後の中学校生活が楽しみです」などの児童の声を聞くことができました。小学校から中学校へと学びの環境変化があることをポジティブに考え、4月からの中学校生活を送れることを志茂田中学校の教職員一同、期待しています。

学年末考査

2月25日（火）～27日（木）の3日間、学年末考査が行われました。3年生にとっては、中学校生活最後の定期考査になりました。どの学年も真剣に取り組みました。



学校安全衛生委員会「花粉症」

数年前は「10人に2人の割合で…」とニュース等で聞いていた患者数が、現在では3人に2人と増えているそうです。花粉症は体中に入ってきた花粉を異物と判断し過剰な免疫反応することが原因です。そのメカニズムはアニメ『はたらく細胞（第5話「スギ花粉アレルギー」）』を見るとわかりやすいです。